

一関工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	無機材料化学	
科目基礎情報							
科目番号	0029			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質化学工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：ウエスト固体化学 基礎と応用（著：A.R. ウエスト，訳：後藤孝他，講談社）						
担当教員	大嶋 江利子						
到達目標							
① 主な無機機能性材料にはどのようなものがあるか理解できる。 ② 主な無機機能性材料の結晶構造，性質を理解できる。 ③ 主な無機機能性材料の製造法が理解できる。 ④ 主な無機機能性材料の用途について理解できる。							
【教育目標】 C, D 【学習・教育到達目標】 C－1, D－1							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
主な無機機能性材料にはどのようなものがあるか理解できる。	主な無機機能性材料にはどのようなものがあるか説明できる。		主な無機機能性材料にはどのようなものがあるか理解できる。		主な無機機能性材料にはどのようなものがあるか理解できない。		
主な無機機能性材料の結晶構造，性質を理解できる。	主な無機機能性材料の結晶構造，性質を説明できる。		主な無機機能性材料の結晶構造，性質を理解できる。		主な無機機能性材料の結晶構造，性質を理解できない。		
主な無機機能性材料の製造法が理解できる。	主な無機機能性材料の製造法を説明できる。		主な無機機能性材料の製造法が理解できる。		主な無機機能性材料の製造法が理解できない。		
主な無機機能性材料の用途について理解できる。	主な無機機能性材料の用途について説明できる。		主な無機機能性材料の用途について理解できる。		主な無機機能性材料の用途について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	固体化学の基礎，様々な無機機能性材料の種類や用途，製造工程について学ぶ。						
授業の進め方・方法	授業は主にスライドを用いて行う。口頭で説明した内容は，メモをとること。 教科書は授業中では補助的に用いるが，予習および復習の自学自習で活用する。 また，授業内容の理解を深めるための演習も行う。 演習プリント等の配布物は保管しておくこと。						
注意点	課題のプリントを配布するので，指示された日時までに提出すること。 未提出の課題が全課題の4分の1を超える場合は，単位を修得できない。 課題は返却しないので，必要に応じてコピーを保存しておくこと。 【事前学習】 教科書の該当部分を読んで予習をしてくること。 【評価方法・評価基準】 試験（100%）で評価する。60点以上を単位修得とする。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	主な結晶構造			主な結晶構造について理解できる	
		2週	結晶の欠陥			結晶の欠陥について理解できる	
		3週	固体材料の合成（固相反応法）			固相反応法による固体合成について理解できる	
		4週	固体材料の合成（低温合成，気相法）			低温合成および気相法による固体合成について理解できる	
		5週	相律と相図			相律と相図について理解できる	
		6週	二成分系の相図			二成分系の相図について理解できる	
		7週	電気的性質			固体の主な電気的性質について理解できる	
		8週	中間試験			1～7週の内容を説明することができる	
	4thQ	9週	超伝導			超伝導について理解できる	
		10週	半導体			半導体について理解できる	
		11週	イオン伝導			イオン伝導について理解できる	
		12週	誘電体			誘電体について理解できる	
		13週	磁気的性質			固体の磁気的性質について理解できる	
		14週	光学的性質			固体の光学的性質について理解できる	
		15週	期末試験			9～14週の内容を説明することができる	
		16週	これまでのまとめ			無機材料化学の内容を総括できる	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験			合計		
総合評価割合		100			100		
基礎的能力		20			20		
専門的能力		80			80		